

会 報

第 50 号

[2022(令和 4)年度活動報告]

埼玉県化粧品工業会

埼玉県化粧品工業会 会報 第50号

目 次

ご挨拶	埼玉県保健医療部薬務課	課長 岡地 哲也	… 2
ご挨拶	埼玉県化粧品工業会	会長 石田 一弘	… 3
1. 設立 50 周年によせて			… 4 ~ 6
	～埼玉県化粧品工業会、埼玉県薬事団体連合会設立の背景		
	*「同業者団体の結成について」(S47年6月;埼玉県衛生部長)		
	*「埼玉県化粧品工業会設立趣意書」(S47年8月)		
	*『埼玉県薬事団体連合会設立の経緯』(S50年6月;埼玉県薬事 団体連合会会報創刊号)		
2. 2022年度の行事概要(画像)			… 7 ~ 8
3. 第51回 埼玉県薬事衛生大会 受賞者名簿			… 8
4. 2022(令和4)年度事業報告			… 9 ~ 18
5. 2022(令和4)年度 決算及び監査報告			… 19 ~ 21
6. 埼玉県化粧品工業会名簿 (役員・会員)			… 22 ~ 23



新年度のごあいさつ

埼玉県保健医療部
薬務課長 岡地 哲也

埼玉県化粧品工業会の皆様におかれましては、埼玉県の薬事行政の推進につきまして、日頃格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年9月に埼玉県化粧品工業会が創立50周年を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。化粧品は国民にとっても生活必需品であり、会長をはじめ、会員の皆様方の長年に渡る並々ならぬ御尽力に敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけがこの5月から5類感染症に分類されることとなります。既に3月からはマスクの着用について「個人の判断にゆだねる。」となるなど、今年度は本格的に「with コロナ」の時代へと移行していくこととなります。これまで、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けてきた化粧品業界にとっても転換期を迎えることと存じ上げます。

2021年の化粧品生産額は、全国で1兆2,989億円と前年から約950億円減少し、過去5年間で最少でした。当県の生産額も全国2位と前年の3位から順位は上昇したものの、前年比で約45億円減の1,695億円でした。

しかしながら、昨年10月以降の訪日外国人に対する入国規制の緩和により海外からの入国者数が大幅に持ち直しておりますし、マスクの着用機会の減少と相まって、化粧品の需要の回復が期待される所です。また、財務省の統計によりますと近年、化粧品の輸出額は増加傾向となっております。県内の化粧品の事業者の皆様が、海外へ販路開拓をする際の一助となるよう、県では引き続き昨年度もJETRO埼玉と合同で「化粧品海外展開・ハラル化粧品製造支援セミナー」を開催したところです。県内の事業者の皆様方におかれましては、海外市場参入について引き続き御検討いただけますと幸いです。

結びに、埼玉県化粧品工業会のさらなる御発展、皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

埼玉県化粧品工業会
会長 石田 一弘

春らしく穏やかな気候に心和む季節となりましたが、埼玉県化粧品工業会会員の皆様におかれましては一層のご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより当会の運営につきまして皆様のご支援ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年度は、引き続き新型コロナウイルスの感染が収まらず、感染者も前年を超える拡大の波が押し寄せ医療体制も一部逼迫しましたが、今年に入って落ちつきを取り戻すとともにマスク着用の緩和も実施され、徐々にコロナ前と変わらないような行動に変化して参りました。当会の活動としてもコロナ感染防止対策を継続し、リアル開催を控えてWEB開催中心に試行錯誤しながらも一定の成果をあげることができました。

世界的にはロシアのウクライナ侵攻や上海ロックダウンなどにより、エネルギー、原料資材の調達に影響を受け経済が混乱し、その結果として激しい物価上昇に繋がりました。

化粧品業界においては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、コロナ感染拡大後の2020年、2021年の出荷額（経産省の出荷統計による）がそれぞれ前年比83.8%、91.3%でしたが、2022年は前年比101.9%と下げ止まりの状況となりました。

当会の活動は、念願の当会のホームページを開設し、より効率的な運営が可能となり、会員の皆様へのタイムリーな情報発信、情報共有など当会の活動の充実につながっております。諸行事については制約され、5月に開催した総会は昨年に続き「書面議決方式」としましたが、その他の行事はコロナ感染状況を鑑みながらリアルとWEB開催を併用しながら実施しました。恒例の薬事研修会については、前年に引き続き埼玉県薬務課様のご協力を得て録画したものをオンデマンド配信し、会員の方々からはご好評と本形式での継続のご要望を数多く頂戴しましたので、本年度も改善を加えながら同様の形式で行う方向で検討しております。

また、当会は昨年50周年を迎えましたが、コロナ禍の状況を見ながら本年度に延期した記念行事をリアル開催で行う方向で検討を進めております。さらに新たな試みとして会員研修交流会の実施に向けて検討を進めております。


本年度は新たなウイズコロナ政策の中で経済活動がさらに活発になることを願いながら世界で認められている日本の安全・安心で高品質な化粧品づくりを継続・発展させるため、引き続き会員会社の皆様のお役に立つよう推進して参りますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆さまのご健勝ならびにご発展を心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

1. 設立 50 周年によせて～ 設立の背景(設立時の資料)

* 埼玉県化粧品工業会は 1972[昭和 47]年 9 月 27 日に設立されました。当時の資料(一部)を以下に掲載します。

■『同業者団体の結成について』(埼玉県衛生部長 薬第 1847 号(1972[昭和 47]年 6 月 29 日))



薬 第 1847 号
昭和 47 年 6 月 29 日

各医薬部外品製造業者
各化粧品製造業者
各医療用具製造業者
各毒物劇物製造業者
各特例販売業者

} 殿

埼玉県衛生部長

同業者団体の結成について(依頼)

謹啓、向慕のふりからますますご清祥のことと、およろこび申し上げます。

日ごろ、衛生行政につきましては、多大のご協力を賜わり、感謝しております。

近時、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療用具ならびに毒物劇物を含有する商品等に対する消費者の関心は高まり、各業界におかれども、安全性の確保、品質および販売姿勢の向上などについて、鋭意ご努力をいただいているところであります。

しかしながら、今後における業界の発展向上を期するうえで、とくに消費者の信頼の確保、業界団体の連携の強化および行政機関との協調が強く望まれております。

このため、県におきましても、消費者教育等に資するため、本年度から新たに薬事相談室を設置するなど、これに対処すべく諸般の準備をすすめております。

また、業界をとりまくきびしい情勢の変化に対応するためには、県内における薬事関係団体が連合のうえ総力を結集して、業界の振

興に関する具体的方策を樹立し、共同してこれを推進することが必要かと存じます。このため、すでに結成されております関係団体に対しては「埼玉県薬事団体連合会(仮称)」の結成についてお願いしているところではありますが、現在、貴業界におかれは、同業者各位による協会または同業組合もしくは協議会等の結成をみていないため、行政との連絡にもこと欠く現状でありますので、消費者側の要請に応じ得る体制の整備と業界の振興を図るためにも、同業者各位が連携して団体を結成することが重要かと存じます。

つきましては、この趣旨をご了承のうえ、団体の結成について格段のご配慮をくださるようお願いいたします。

団体結成後は、貴業界におかれましても、連合会に加入されるよう、ご賛同をお願いいたします。

(担当 薬務課振興係 電話内線 613)

埼玉県化粧品工業会 設立趣意書

随啓 残響きびしきおりからますますご清祥のこととおよろこび申しあげます。
近時、私ども化粧品を製造または輸入等する者にとりまして薬事法等の規制の強化はもとより、化粧品の品質の向上について消費者の関心も、ますます高まっております。

そこで、私どもが行政との連絡を密にし、業界の振興と消費者の信頼をつなぐための協力的体制の整備を図るため、同業者による団体を結成する必要があることにつきましては、先般の埼玉県衛生部長からの文書(昭和四十七年六月二十九日付け「同業者団体の結成について」)によりまして、ご了承いただいております。

私どもも、この団体の結成につきましては、常日ごろ、その必要性を痛感していたところでありましたが、県当局からのご支援もいただけることになりましたのでぜひとも「埼玉県化粧品工業会」を結成したいと存じます。

また、この団体を含め、各団体が結集して「社団法人埼玉県薬事団体連合会(仮称)」が結成されますので、この組織にも加入してゆきたいと考えております。

私どもは微力であり、また、発起人としての技量も持ち合わせておりませんが、好機に当局からの呼びかけもあつたこととありますので、お引受けした次第であります。幸い、別添のとおり会則(案)の起草も当局のご支援をいただきました。

つきましては、この趣旨にご賛同くださいますよう、一日も早くご入会くださいますよう、格段のご配慮とご協力をお願い申し上げます。具体的な事項につきましては、おつてご連絡を申しあげますが、とり急ぎ会則(案)を添えて、ご案内がたお願ひ申しあげます。

昭和四十七年八月

右 発起人(アイウエオ順)

- 石田香粧株式会社
- 釜屋化学工業株式会社
- 株式会社 川口伊勢半
- 株式会社 テミカル商会
- 株式会社 小林コーセイ
- 株式会社 資生堂
- 昭和科研株式会社
- 東京エアゾール化学株式会社
- 東洋エアゾール工業株式会社
- 日本リレント化粧品株式会社
- 株式会社 ニューオペラ
- 株式会社 百日草ケミカルズ
- 株式会社 ベリカン石鹸
- ヘレンカーチスジャパン株式会社
- ルマール化粧品株式会社

■『埼玉県薬事団体連合会設立の経緯』

(埼玉県薬事団体連合会会報 創刊号(1975(昭和50)年6月20日 発行)より)

I 設立年月日 昭和47年10月2日

II 設立の経緯

医薬品等および毒物劇物について、消費者の信頼を確保するため、安全性、品質、販売姿勢等を向上し、あわせて業界の発展に資することを目的として、団体未設置の医薬部外品、化粧品、医療用具、毒物劇物の県内製造(輸入)業者に対し、団体を結成するよう県当局からの呼びかけがあり、県業務課が設立事務を分担し、関係業界の代表者(発起人)による勧誘等の積極的な活動を得て、それぞれ2回の設立準備会を経たりえ、昭和47年9月に次の4団体が結成された。

- | | | |
|---------------|--------------|----|
| 1. 埼玉県衛生材料工業会 | S. 47. 9. 12 | 設立 |
| 2. 埼玉県医療用具工業会 | S. 47. 9. 19 | # |
| 3. 埼玉県毒物劇物協会 | S. 47. 9. 22 | # |
| 4. 埼玉県化粧品工業会 | S. 47. 9. 27 | # |

さらに、消費者保護、業界団体の連携の強化と行政機関との協調を図ることを目的として、上記新設4団体と既存の8団体が連合するよう呼びかけを受けて、10月2日に津田恭介共立薬科大学学長を会長とする12団体からなる埼玉県薬事団体連合会が結成された。

III 会 員

(S. 50. 5. 10現在)

会 員 名	代 表 者	設 立 年 月 日	会 員 数
埼玉県製薬協会	杉谷 覚之助	S. 23. 10	59
埼玉県化粧品工業会	小林 礼次郎	S. 47. 9. 27	41
(社)埼玉県薬剤師会	榎本 栄 司	T. 15. 7. 1	1,527
埼玉県毒物劇物協会	安保 五 郎	S. 47. 9. 22	69
埼玉県医療用具工業会	金 谷 英 二	S. 47. 9. 19	55
埼玉県薬種商会	井 田 富 蔵	S. 16. 4. 10	239
埼玉県医薬品配置協議会	目 慶 久	S. 27. 3. 20	823
埼玉県医薬品卸協同組合	岩 崎 光 一	S. 33. 4. 1	24
埼玉県ワクチン協会	小 林 嘉 郎	S. 45. 2. 16	30
埼玉県衛生材料工業会	永 井 進	S. 47. 9. 12	7
埼玉県麻薬協会	栗 原 源 博	S. 25. 4. 1	12
埼玉生薬協同組合	磯 田 正 則	S. 31. 3. 16	9

2. 2022[令和 4]年度行事 概要

《役員会》



- * 2022[令和 4]年 7月 29日開催
(埼玉会館 5B 会議室)
- * 2023[令和 5]年 1月 13日開催
(埼玉教育会館 303 会議室)



～WEB 開催～

- * 2022[令和 4]年 4月 26日
- * 2023[令和 4]年 9月 21日
- * 2022[令和 4]年 11月 25日
- * 2023[令和 5]年 3月 1日

《薬事情報交換会》



～WEB 開催～

- * 2022[令和 4]年 8月 2日
- * 2023[令和 5]年 11月 14日
- * 2023[令和 5]年 1月 26日

《学術講演会》

- 2022[令和 4]年 7月 1日より、当会ホームページ上 YouTube にて配信

(4月 21日撮影 (於;埼玉会館 7A 会議室))

- * 演題：「コミュニケーションを高める基本 ～話の成果をあげる効果的な話し方と聴き方～
- * 講師：(一社) 話力総合研究所 理事長 秋田 義一 氏

講演プログラム

- ① 開催挨拶と講師紹介
基調講演「コミュニケーション能力を高める基本」
(1) 話力を磨け！ 話力は自身の総合力
- ② (2) 効果的な話し方を意識する
- ③ (3) 聴き方がコミュニケーションの効果を左右する
- ④ Q&A (その1) 「上司への報告タイミング、伝え方」
- ⑤ Q&A (その2) 「困りごとや意見を聞き出す話し方と聞き方」
- ⑥ Q&A (その3) 「オンラインのコミュニケーションで心がけたいこと」
- ⑦ Q&A (その4) 「成長させたい部下への適切な褒め方と叱り方」
- ⑧ 講演まとめ「話力磨きのスパイラル」



《薬事研修会》

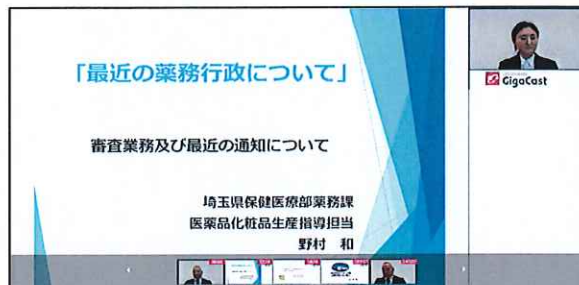
- 2023[令和5]年2月6日～20日 ホームページ上でオンデマンド配信
(2023[令和5]年1月20日撮影 (於;埼玉会館 7A 会議室))



薬務課 講演
野村主任



薬務課 講演
杉山技師



3. 薬事衛生大会受賞者名簿 [敬称略]

2022(令和4)年度

埼玉県知事表彰(薬事功労)(1名)

小林 光男 (株)コーセー

埼玉県薬事団体連合会会長表彰 (薬事功労) (2名)

遠山 伴子 (株)資生堂

加藤 照代 (株)資生堂

埼玉県薬事団体連合会会長表彰 (薬事善行) (9名)

岡崎 美枝子 (株)アルビオン

四分一 晴美 (株)アルビオン

辛川 真伊子 (株)コーセー

牧野 剛 (株)資生堂

平間 悟 (株)資生堂

岩崎 一美 (株)資生堂

中嶋 泰子 (株)資生堂

清原 恭子 (株)資生堂

樋口 陽土 (株)日本シンコー

4. 事業報告【2022(令和4)年4月～2023年(令和5)年3月】

1) 埼玉県化粧品工業会関係

<2022(令和4)年>

4月11日(がん検診受診推進サポーター2021(令和3)年度実績報告書提出
(埼玉県との「がん啓発・がん検診受診率向上に向けた包括的連携に関する協定」
関連)

埼玉県保健医療部疾病対策課へ報告書提出(サポーター在籍企業6社分)

4月14日(会計予備確認)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

参加者:樋口会計理事、事務局

4月18日(会計監査)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

参加者:熊田監事、樋口会計理事、事務局

4月21日(学術講演会ホームページ配信用録画)

於:埼玉会館7A会議室

演題:「コミュニケーションを高める基本～話の成果をあげる効果的な話し方と聴き方」

講師:(一社)話力総合研究所 理事長 秋田 義一氏

録画参加者:秋田氏、浅井理事、研修分科会学術講演会チーム6名、事務局4名

4月26日(第227回役員会)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

参加者:役員・事務局 19名

議事:

1. 研修会報告

・2021(令和3)年度 薬事研修会実施報告

・学術講演会(4/21撮影実施、7月配信予定)

2. 2022(令和4)年度 総会について

・方法、予算案、開催案内について

・総会付議事項について(議案書内容審議)

3. 2022(令和4)年度 行事計画と役員担当(案)について

4. 50周年記念総会講演 講師選定について

・総会開催予定日 ⇒ 2023年5月18日(木)

・講師 ⇒ 今井麻椰氏

5. 役員の交代及び顧問・参与への推挙について

- ・(株)コーセー～中林氏⇒石田氏、中林氏は顧問に推挙
- ・(株)アミノ ～臼井氏⇒境野氏、臼井氏は参与に推挙
- ・日本エマルジョン(株)～役員辞退、今井氏は参与を辞退

6. その他

- ・薬事団体長・理事合同会議報告(4/19 開催)
- ・会員会社社名変更の件～持田ヘルスケア(株) ⇒ 持田製薬工場(株)
- ・会長会社事務局メンバー交代
- ・本年度の役員会開催日程確認

5月11日～25日(2022(令和4)年度定時総会)

書類送付による「書面議決方式」にて開催(全76社)

第1号議案 2021(令和3)年度事業報告

[賛成：65票 反対：0票 未回収(賛成)：11票 ※賛成100%]可決

第2号議案 2021(令和3)年度決算報告、同監査報告

[賛成：65票 反対：0票 未回収(賛成)：11票 ※賛成100%]可決

第3号議案 2022(令和4)年度事業計画案

[賛成：65票 反対：0票 未回収(賛成)：11票 ※賛成100%]可決

第4号議案 2022(令和4)年度予算案

[賛成：65票 反対：0票 未回収(賛成)：11票 ※賛成100%]可決

第5号議案 会則改定案

[賛成：65票 反対：0票 未回収(賛成)：11票 ※賛成100%]可決

第6号議案 役員改選

[賛成：65票 反対：0票 未回収(賛成)：11票 ※賛成100%]可決

入会・退会報告

その他(薬務課異動情報)

6月6日[埼玉県からの通知(産業労働部企業立地課通知企立第23-15号(令和4年6月1日付))]

「海外ECサイトに開設する埼玉県特設ショップへの出品企業の募集について」

HPの「事務局からのお知らせ」にアップ

6月23日(薬務課との打合せ)

於；薬務課会議室

参加者：薬務課4名、事務局3名

議事：

1. 2022(令和4)年度総会報告
2. 薬事研修会のマスタースケジュールについて(一部修正)

3. 薬事情報交換会の進め方について

6月29日(研修分科会 全体会合)

於; 埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)

参加者: 役員・委員・事務局 17名

議事:

1. 2022年度の委員の確認
2. 2022年度の役員の担当業務について(各分科会に担当理事を置く)
3. 2022年度の研修分科会の取組内容について
4. その他

7月1日～ (学術講演会オンデマンド配信)

4月21日に録画した動画を埼玉化工 HP 上で公開(YouTube)

演題: 「コミュニケーションを高める基本～話の成果をあげる効果的な話し方と聴き方」

講師: (一社)話力総合研究所 理事長 秋田 義一氏

7月29日(第228回役員会)

於; 埼玉会館 5B 会議室

参加者: 役員・事務局 13名

議事:

1. 2022(令和4)年度総会報告(5月11～25日)[書面議決方式にて開催]
2. 埼玉県薬事団体連合会 総会報告(6月3日開催)
3. 学術講演会について
4. 施設見学会について～今年度は見送りとする
5. 研修分科会について～6月29日全体会議報告
6. 薬事研修会について
7. 2022年度薬事衛生大会について(10月31日開催予定)
 - ・本年度の知事表彰、連合会会長表彰の被表彰者の選考、負担金の確認
8. 入退会について
 - ・入会 ～ 東京ロジファクトリー株式会社(圏央入間物流センター); 入会承認
 - ・大会 ～ 株式会社 エスディーシー
9. ホームページの一部改修について
10. その他
 - ・上期会費納入状況
 - ・今後の日程

8月2日(第85回薬事情報交換会)

書類送付及びWeb(ZOOM)にて開催

参加者：薬務課 3名、担当役員・委員・事務局 15名

議事：

1. メンバーについて
2. 最近の薬務情勢について～指導事例の紹介
3. 今後の進め方について

8月23日(研修分科会・会員研修交流会チーム)

Web(ZOOM)にて開催

参加者：担当役員・委員・事務局 7名

議事：

1. 活動計画について
2. 研修会基本プログラム案
3. 次回の準備事項について

9月21日(第229回役員会(臨時))

Web(ZOOM)にて開催

参加者：役員・顧問・事務局 10名

議事：

1. 監事交代について
熊田 利美 氏 ⇒ 三浦 孝行 氏(東洋エアゾール工業株)

9月28日(研修分科会・総会研修会チーム)

Web(TEAMS)にて開催

参加者：分科会チームメンバー 4名

議事：

1. リーダーの決定
2. 過去の経緯確認
3. 今年度の活動について

10月25日(研修分科会・学術講演会チーム)

Web(ZOOM)にて開催

参加者：担当役員・委員・事務局 8名

議事：

1. リーダーの決定
2. 基本計画の確認

3. 2023年度の活動について(開催方法、場所など)

10月31日[連合会](第51回薬事衛生大会)

於；埼玉会館小ホール 出席者;計 119名

議事：

表彰

1. 厚生労働大臣表彰状の伝達(2名)
2. 埼玉県知事表彰状の授与(18名、うち当会1名)
3. 埼玉県薬事団体連合会会長表彰状(薬事功労)の授与(49名、うち当会2名)
4. 埼玉県薬事団体連合会会長表彰状(薬事善行)の授与(58名、うち当会9名)
⇒当会が代表受領
5. 厚生労働大臣感謝状の伝達(薬物乱用防止功績)(1団体)
6. 厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状の伝達(薬物乱用防止功績)(2名)
7. 埼玉県知事感謝状の贈呈(薬物乱用防止功績) (10名・1団体)

来賓祝辞

受賞者代表謝辞

11月14日(第86回薬事情報交換会)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

出席者：薬務課 4名、担当役員・委員・事務局 13名

議事：

- 1.最近の薬務情勢について(薬務課からの情報)
 - ①収去について
 - ②経済産業省生産動態統計について(2021年は埼玉県は全国2位)
 - ③最近発出された通知について(1件;消毒剤)
 - ④最近の回収事例について(2件)
 - ⑤ オンライン申請について
- 2.その他

11月18日(研修分科会・会員研修交流会チーム)

於；埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)

出席者：担当役員・委員・事務局 5名

議事：

1. 基本プログラム具体的内容検討(「アイスブレイク」内容案、GDテーマ、役割等)
2. 次回の準備事項確認

11月25日(第230回役員会)

書類送付及びWeb(ZOOM)にて開催

出席者：役員・顧問・事務局 18名

議事：

1. 第51回薬事衛生大会報告(10/31開催)
2. 連合会薬事団体長会議報告(11/9開催)
3. 第86回薬事情報交換会報告(11/14開催)
4. 2022(令和4)年度薬事研修会進捗報告
5. 研修分科会各チームの現状報告
6. 役員交代について(理事)
株式会社アルビオン 豊島 裕基氏→永島 金剛氏(2023年1月1日付)
7. 薬事研修会 活動紹介内容確認(株式会社ペリカン石鹸)
8. その他

12月19日(研修分科会・総会研修会チーム)

Web(ZOOM)にて開催

出席者：担当役員・委員・事務局 8名

議事：

1. 研修会講師候補選定の情報交換
2. 分科会基本計画の再確認
3. 2023(令和5)年度総会の研修会について(設立50周年記念講演会)
4. 担当役員交代の件(豊島 裕基氏→永島 金剛氏)

<2023(令和5)年>

1月13日(第231回役員会)

於；埼玉教育会館303会議室

出席者：役員・顧問・事務局 15名

議事：

1. 新役員及び会長会社事務局新メンバーの紹介
2. (株)百日草ケミカルズ 社名変更および当会の役員交代について
(株)百日草ケミカルズ → フィーネ製薬(株)
太田 智康氏 → 松野 佳苗氏
3. 2022(令和4)年度 薬事研修会について(録画日の再確認など)
4. 埼化工ニュース廃刊について(ホームページ内に掲載)
5. 次年度役員会の開催方法について(リアル開催を基本とする)

1月17日(研修分科会・会員研修交流会チーム)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

出席者：担当役員・委員・事務局 8名

議事：

1. 基本プログラムの具体的内容確認

プログラム、DM、GDテーマ、個人グループワーク用紙、感想カード、PP、
司会者マニュアル、必要備品

2. 交流会の検討

盛り上げる方法、景品、交流に結びつけるきっかけ、費用

1月20日(薬事研修会オンデマンド配信用撮影)

於；埼玉会館7A会議室

出席者：薬務課・岡地課長、相川主査、野村主任(講師)、杉山技師(講師)、

(株)ペリカン石鹸3名(活動紹介)、

石田会長、三村理事(司会)、事務局4名、(株)ロゴスウェア担当者1名

議事：撮影

1月26日(第87回薬事情報交換会)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

出席者：薬務課5名、担当役員・委員・事務局14名

議事：

1. 新メンバー紹介

2. ハラル化粧品セミナーについて

3. 最近の薬務情勢について(薬務課からの情報)

①オンライン申請について

②手数料の電子収納について

③収入証紙の販売終了について

④最近発出された通知について(2件)

2月6日～20日(薬事研修会)

映像をオンデマンド配信《期間限定配信》)

○参加申込社数：174社(会員76社、非会員98社)

○視聴回数

延参加人数：1,029名

延閲覧回数：1,716回

○演題

1. 最近の薬務情勢について

①「審査業務及び最近の通知について」

埼玉県保健医療部 薬務課 医薬品化粧品生産指導担当
主任 野村 和氏

②「立入調査における指摘事項及び違反・回収事例について」

同 技師 杉山 りさ氏

2. 埼玉県化粧品工業会 活動紹介

「株式会社ペリカン石鹸 改善活動の取り組み」

株式会社ペリカン石鹸 埼玉工場 城 清久氏

2月20日(研修分科会・学術講演会チーム)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

出席者：担当役員・委員・事務局 9名

議事：

1. 新任事務局の紹介
2. 2023年度学術講演会進捗状況
講師、演題、開催予定日(2023年7月26日)、プログラム案、役割案
3. 2024年度講師情報状況確認

2月28日、3月10日(がん検診受診推進サポーター養成オンライン研修会)

(埼玉県との「がん啓発・がん検診受診率向上に向けた包括的連携に関する協定」
関連

3月1日(第232回役員会)

Web(Zoom)にて開催

出席者：役員・顧問・事務局 15名

議事：

1. 2023(令和5)年度総会について(開催場所、開催方法)

3月7日(研修分科会・会員研修交流会チーム)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

出席者：担当役員・委員・事務局 7名

議事：

1. 交流会の内容検討
・内容について
・グルーピングについて

3月14日(研修分科会・施設見学会チーム)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

出席者：担当役員・委員・事務局 8名

議事：

1. メンバー確認
2. 見学会の現状確認と今後の開催方法について
3. 2023年度(ファンケル美研)及び2024年度以降について

3月23日(薬事研修会事業報告)

於；薬務課会議室

出席者：薬務課 3名、事務局 3名

議事：2022(令和4)年度薬事研修会事業報告

3月28日(研修分科会・総会研修会チーム)

書類送付及びWeb(Zoom)にて開催

出席者：担当役員・委員・事務局 8名

議事：

1. 講演候補者情報
2. 2023年度総会について

2) 埼玉県薬事団体連合会関係

4月19日[連合会](薬事団体長・理事合同会議)

於；埼玉会館3B会議室

議事：

1. 令和4年度総会付議事項について
2. その他

6月3日[連合会](通常総会)

於；埼玉会館2Fラウンジ

参加者：鶴田会長、石田会長、事務局3名、岡地薬務課長
(新型コロナウイルス感染防止のため、少人数で開催)

議事：

- 議案第1号 令和3年度事業報告について
- 議案第2号 令和3年度歳入歳出決算について、同監査報告
- 議案第3号 令和4年度事業計画案について
- 議案第4号 令和4年度歳入歳出予算案について
- 議案第5号 役員改選について
 - ・全議案可決
 - ・研修会、懇親会は中止

8月24日(薬事団体長・理事合同会議)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書類(メール)にて開催

議事:

1. 第51回薬事衛生大会について
(大会概要、被表彰者選考、代表受領者・謝辞担当者について等)
2. 会報第46号発行について(編集委員会;未定)
3. 新年名刺交換会について(1月13日)詳細未定

10月31日[連合会](第51回薬事衛生大会)

於;埼玉会館小ホール 出席者;計 119名

議事:

表彰

- 1 厚生労働大臣表彰状の伝達(2名)
- 2 埼玉県知事表彰状の授与(18名、うち当会1名)
- 3 埼玉県薬事団体連合会会長表彰状(薬事功労)の授与(49名、うち当会2名)
- 4 埼玉県薬事団体連合会会長表彰状(薬事善行)の授与(58名、うち当会9名)
⇒当会が代表受領
- 5 厚生労働大臣感謝状の伝達(薬物乱用防止功績)(1団体)
- 6 厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状の伝達(薬物乱用防止功績)(2名)
- 7 埼玉県知事感謝状の贈呈(薬物乱用防止功績)(10名・1団体)

来賓祝辞

受賞者代表謝辞

11月9日[連合会](薬事団体長会議・会報編集会議)

於;埼玉会館3B会議室

議事;

1. 薬事衛生大会報告
2. 会報第46号の発行について
3. 第49回新年名刺交換会について(1月13日)
4. その他

<2023(令和5)年>

1月13日[連合会](新年名刺交換会)

於;埼玉教育会館201・202会議室会議室

※名刺交換会は中止し、講演会のみ開催、録画画像を埼玉県薬剤師会のHP上でオンデマンド配信する(1月18日~2月28日)。

演題:「科学の進歩と真相究明ー見たことと見抜いたものー」

講師:押田 茂實氏(日本大学名誉教授(法医学)、神楽坂法医学研究所 所長)

5. 2022(令和4)年度決算

【収入の部】

一般会計

2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日

科目		実績	予算	予算対比	摘 要
繰越金		2,154,452	2,154,452	0	
会費		2,454,600	2,600,000	▲ 145,400	
	1.会費	2,285,000	2,280,000	5,000	会費内訳
		20,000	0	20,000	・入会金 20,000 × 1社 = 20,000
		2,265,000	2,280,000	▲ 15,000	・会費 30,000 × 75社 = 2,250,000
					・会費 15,000 × 1社 = 15,000
	2.特別会費	169,600	320,000	▲ 150,400	特別会費内訳
		0	0	0	・総会費(書面議決)
		0	0	0	・学術講演会費(WEB開催)
					(会員) 0 × 76口 = 0
		0			・薬事研修会費(WEB開催)
					(会員) 0 × 76口 = 0
		166,600	320,000	▲ 153,400	(一般) 1,700 × 98口 = 166,600
		3,000			(*21年度分一般) 3,000 × 1口 = 3,000
雑収入		1,138,896	20	1,138,876	
	1.預金利子	21	20	1	
	2.雑収入	1,138,875	0	1,138,875	*記念行事積立金(特別会計)を一般会計に移動(定期預金口座解約) *埼玉会館ホール及び会議室未使用返還金
収入合計		5,747,948	4,754,472	993,476	

【支出の部】

一般会計

2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日

科目		実績	予算	予算対比	備考
会議費		90,868	100,000	▲ 9,132	
	1. 総会費	73,321	0	73,321	・講師打合せ費及び総会物品購入費
	2. 役員会費	17,547	100,000	▲ 82,453	・役員会会場室使用料等
事務費		173,358	430,000	▲ 256,642	
	1. 消耗品費	0	100,000	▲ 100,000	・事務用品・消耗品・会計資料等
	2. 印刷製本費	0	0	0	・研修会テキスト電子化
	3. 通信運搬費	173,358	300,000	▲ 126,642	・切手・ハガキ・送料等
	4. 租税公課	0	0	0	・印紙等
	5. 交際費	0	30,000	▲ 30,000	・慶弔費等
事業費		552,107	2,100,000	▲ 1,547,893	
	1. 研修費	466,681	2,000,000	▲ 1,533,319	・研修会の講師謝礼、会場使用料等
	2. 広報費	85,426	100,000	▲ 14,574	・ホームページ運営・改修費用等
負担金		1,287,000	1,340,000	▲ 53,000	
	1. 負担金	1,277,000	1,330,000	▲ 53,000	・埼薬連負担金、薬事衛生大会補助費
	2. 協賛金	10,000	10,000	0	・ダメゼツタイ運動協賛金
	3. AED維持管理費	0	0	0	・県寄贈AED維持管理費
予備費		0	784,472	▲ 784,472	
	1. 予備費	0	784,472	▲ 784,472	
支出合計		2,103,333	4,754,472	▲ 2,651,139	

収入合計 5,747,948

支出合計 2,103,333

差引残高 3,644,615

監 査 報 告

2022(令和4)年度 収支決算について、監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

2023(令和5)年4月17日

監 事 三浦 孝行



監 事 松野 佳苗



埼玉県化粧品工業会役員・会員名簿

1) 埼玉県化粧品工業会役員名簿

【2023(令和5)年4月1日現在】 (敬称略、会社名50音順)

会 長	石田 一弘	株式会社 コーセー
副 会 長	高橋 祐介	株式会社 コンテス
副 会 長	小森 良太	株式会社 ペリカン石鹸
会計理事	樋口 康久	株式会社 日本シンコー
理 事	浅井 俊雄	アイカーケミカル株式会社
理 事	境野 敦	株式会社 アリミノ
理 事	永島 金剛	株式会社 アルビオン
理 事	丸山 誉将	小池化学株式会社
理 事	高山 博幸	ジェイオーコスメティックス株式会社
理 事	三村 圭一郎	彩資生株式会社
理 事	森高 直樹	ちふれホールディングス株式会社
理 事	井村 竜朋	株式会社ファイントゥデイインダストリーズ (旧.株式会社資生堂)
監 事	三浦 孝行	東洋エアゾール工業株式会社
監 事	松野 佳苗	フィーネ製薬株式会社 (旧.株式会社百日草ケミカルズ)

2)埼玉県化粧品工業会 会員名簿(2023(令和5)年4月19日現在) (75社)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 アイカーケミカル株式会社 | 40 秩父テック株式会社 |
| 2 株式会社アイビー化粧品 | 41 ちふれホールディングス株式会社 |
| 3 株式会社旭紙工 | 42 中央エアゾール化学株式会社 |
| 4 株式会社アミノ | 43 株式会社ディーエイチシー |
| 5 株式会社アルピオン | 44 株式会社ティーエス |
| 6 アルロン・ジャパン株式会社 | 45 株式会社テクノビューティーサプライ |
| 7 株式会社イーエルティ | 46 東京電化株式会社 |
| 8 石田香粧株式会社 | 47 株式会社東京美容科学研究所 |
| 9 彩資生株式会社 | 48 東京ロジファクトリー株式会社 |
| 10 エア・ウォーター・リアライズ株式会社 | 49 東洋エアゾール工業株式会社 |
| 11 有限会社エス・アンド・エー | 50 株式会社トーショー |
| 12 株式会社エステノーバ | 51 株式会社ナユタ |
| 13 株式会社恵理化 | 52 日興梱包運輸株式会社 |
| 14 エスケー石鹸株式会社 | 53 ニッポー株式会社 |
| 15 株式会社オリエンタルマジック | 54 日本エマルジョン株式会社 |
| 16 柏産業株式会社 | 55 株式会社日本シンコー |
| 17 銀座ステファニー化粧品株式会社 | 56 株式会社日本天然物研究所 |
| 18 株式会社ケミカルプロコスメチック | 57 日本ビューテック株式会社 |
| 19 ケミスクリエイションズ株式会社 | 58 株式会社ネクスト |
| 20 小池化学株式会社 | 59 パナールイオン株式会社 |
| 21 株式会社光英科学研究所 | 60 株式会社ビースト |
| 22 株式会社コーセー | 61 株式会社ビーテック |
| 23 株式会社コープクリーン | 62 株式会社ビッグハンド |
| 24 株式会社コスメグローバル | 63 株式会社ピノーレ |
| 25 株式会社コスメサイエンス | 64 株式会社ファイントゥデイインダストリーズ
(旧 株式会社資生堂) |
| 26 株式会社コンテス | 65 フィーネ製薬株式会社
(旧 株式会社百日草ケミカルズ) |
| 27 西條産業株式会社 | 66 株式会社ふじ |
| 28 有限会社サス | 67 株式会社フルモンツ |
| 29 株式会社サンパック | 68 株式会社ペリカン石鹸 |
| 30 サンビューティー株式会社 | 69 ホシケミカルズ株式会社 |
| 31 シー・テック株式会社 | 70 メディカルスペース株式会社 |
| 32 シーピーカンパニー株式会社 | 71 株式会社マコス |
| 33 ジェイオーコスメティックス株式会社 | 72 持田ヘルスケア株式会社 |
| 34 ジャパンケミコ株式会社 | 73 株式会社ヤマビューティケミカル |
| 35 株式会社ジャパンビューティプロダクツ | 74 ランインターナショナル株式会社 |
| 36 株式会社シン・インターナショナル | 75 リアル化学株式会社 |
| 37 株式会社スイスロワール | |
| 38 株式会社セラビー | |
| 39 大正製薬株式会社 | |

[75社(会社名50音順)]

発 行	2023(令和 5)年 4 月
発行者	石田 一弘
発行所	埼玉県化粧品工業会 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県保健医療部薬務課内